



NVNADニュース100号記念発刊にあたりご挨拶

理事長 渥美 公秀

NVNADニュース第100号をお届けいたします。NVNADニュースは、阪神・淡路大震災直後の1995年10月10日発行の創刊号以来、月刊から季刊へと頻度は変えながらも、約20年にわたって、NVNADの活動を皆様にお伝えしてまいりました。今振り返ってみますと、国内では、阪神・淡路大震災、中越地震、中越沖地震、そして、東日本大震災などの地震災害や、全国各地で発生してきた水害への対応、国外に目を向けますと、台湾集集大地震、トルコ地震、イラン南東部地震、四川大地震などへの取り組みについて、号外も含めて、発信して参りました。また、地元西宮を中心とした地域防災活動も毎号欠かせない大きな柱です。併せて、全国各地からお招き頂きました講演会などの報告も掲載しております。そして、折に触れて、皆様でご活躍の皆様にも健筆を振るっていただきました。

第100号を前に、「継続は力なり」という言葉がよぎります。この言葉は、通常、コツコツと活動していくことが実力増進につながり、いずれは大きな目標が達成できるという意味かと思えます。確かに、NVNADニュースには、そういう面があることも事実です。事実、事務局としましては、NVNADニュースを1回も遅れることなく発刊できたことも密かな自信となっております。しかし、この言葉からは別の意味も伝わってきます。毎号コツコツと発刊できたのはなぜでしょうか？力とは、誰の力なのでしょうか？

「継続は力なり」これは、決して、私たちが勝手に継続したのではありませんし、私たちが勝手に実力をつけたということでもありません。「継続は力なり」という言葉は、「こうして継続してニュースを発刊させていただいただけましたのは、NVNADをご支援下さってきた皆様のお力のおかげです」という意味だと考えております。

第100号発刊に当たりまして、これまで皆様から頂戴しましたご支援に改めまして心より感謝申し上げます。NVNADは、これからも皆様からのご支援を力として、心に響く活動を継続してまいりたいと決意を新たにしております。引き続きのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

- c o n t e n t s -

P 1	ニュースレター100号記念ご挨拶
P 2	KSN交流イベント / KSN交流会 / 炊き出し訓練
P 3	ボランティアリーダー養成講座 / ボランティア体験セミナー
P 4	福島支援 / 佐用町訪問
P 5 ~ 6	NVNAD通常総会
P 7	認定NPO法人税制優遇
P 8	西宮浜防災マップ / 子ども防災クラブ / Nごよみ
P 9	Nうごき / 会員・寄付者・募金者のみなさま
P 10	会員・寄付者・募金者のみなさま / 編集後記

KSN学習会



6月22日(日)、西宮市立中央公民館にて、KSN(関西学院大学災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3団体が主体)主催による「学習&お菓子づくり」を開催しました。今回は初めて、子どもたちだけの参加形態をとりましたが、14名の参加があり、最初に和室でお勉強やお絵かき、またおりがみなどを1時間ほど行ったあと、実習室で3班に分かれてクッキーづくりに挑戦しました。子どもたち自身がクッキー生地をこねたり、型抜きやトッピングしたりと、とても楽しそうに取り組んでいました。出来上がりも上々で、その場で食べてみましたが、とても美味しく出来上がっていました。夕方4時に、保護者の皆様がお迎えに来られ、プログラムは終了となりました。

KSN交流会



7月29日(火)、KSN主催で、県外避難者を対象とした今年度第1回目の交流イベントを実施しました。西宮市内からバスに乗り、関西学院千刈キャンプ場へ向かいました。10組23名の親子がご参加下さり、お天気にも恵まれザリガニ釣りやバーベキュー、あるいはピザづくりなどを楽しみました。KSNの活動を日頃からご支援下さっています「JR西日本あんしん社会財団」の職員さんも今回わざわざご参加下さいました。これからも定期的に活動を行っていければと思っています。(事務局)

炊き出し訓練

7月13日(日)、三田市にある関西学院千刈キャンプ場にて、炊き出し訓練を実施しました。この企画は、5月31日に実施した、ボランティアリーダー養成講座の第3回目「災害食について」という講義の中で、講師の奥田先生がおっしゃっていた「災害時に炊き出しをスムーズに行うため、日頃から鍋でお米を炊くなど炊き出しの練習を行っておいて下さい」というお話を受けて実施したものです。当日は、参加者11名が2チームに分かれ、チームごとに大きなお鍋で、2kgの無洗米を薪と炭を使って炊きました。並行してカレー作りも行いました。

出来上がりや味の判定を千刈キャンプ場の責任者である益田氏に依頼して、優勝チームを決めていただきました。2チームともご飯、カレーともに大変うまく出来上がっていました。先のボランティアリーダー養成講座が、講義のみに終わらず、このように実践へと結び付いたことに意義を感じています。今回はまず小規模な人数での訓練でしたが、次回は秋頃にももう少し大規模な炊き出し訓練ができればと考えています。また、炊き出し訓練だけにとどまらず、災害時に備えた様々な活動へと展開していきたいと考えております。(事務局)



第1回ボランティアリーダー養成講座

5月17日～6月21日の毎週土曜日、6週間にわたり西宮市市民交流センターにおいて「第1回ボランティアリーダー養成講座」を開催しました。初回は、この講座の目的やNVNADの事業内容について事務局から説明を行ったあと、理事長の渥美（大阪大学）による「災害ボランティア」の講義を行いました。2回目は「子どもの支援」について米山理事が担当、3回目は甲南女子大学の名誉教授である奥田理事による「災害食」をテーマとした講座でした。受講者の皆さんとの交流を深めることを目的に、4回目は親睦会を開催したのち、5回目は「防災・リスクコミュニケーション」に関する講義を、矢守理事（京都大学防災研究所）が行いました。そして、最終回にあたる6回目は、檜垣副理事長が「NPOと社会貢献」をテーマに講義を行った後、修了書の授与式ならびに受講生全員と意見交換会を行いました。



受講者は、地元の西宮市以外にも、尼崎市や大阪市、明石市や猪名川町など幅広い地域からご参加いただくことができ、この講座が、人材交流の場にもなったように思います。カリキュラムとしては全6回を完了しましたが、今後の活動計画が話題にのぼるなど、この講座を通じてできた繋がりが継続されようとしています。今回の養成講座が、災害時のほか、平時の地域活動において活躍できる人材の育成につながっていけばと願っています。（事務局）

ボランティア体験セミナー

5月10日（土）、市民活動コーディネート事業の一環として、今年度第1回目の「ボランティア体験セミナー」を甲子園浜にて開催しました。今回は、日頃甲子園浜で活動されている『NPO法人海浜の自然環境を守る会』の皆様にご協力いただき、甲子園浜が誕生した経緯や団体の活動などについてのお話を聞きした後、実際に海浜で清掃活動や生き物観察などを体験させていただきました。この甲子園浜は、兵庫県では唯一「鳥獣保護区」に指定されており、めずらしい野鳥が観察できる貴重なポイントでもあります。ボランティア体験に参加された方々も、西宮にこんな素敵な海浜があることに感動されていて、このような自然環境を守っていく活動の重要性を感じておられました。これからも色々な方に活動を紹介していければと思っています。



また7月5日（土）には、西宮市市民交流センターにおいて、第2回目の「ボランティア体験セミナー」を実施しました。今回は西宮市内に事務所があるNPO法人兵庫介助犬協会の北澤代表とボランティアのSさん、そして、元介助犬のアルト（オス11才）に来ていただきました。最初に、



北澤代表から、介助犬というものはどういうものか、また、兵庫介助犬協会の日頃の活動についてスライドを見ながら説明があり、その後、昨年引退した介助犬アルトと北澤代表に、床に落ちたものを拾ったり、椅子に置いてある物を取ってきたりする介助訓練の実演をしていただきました。そして、最後にもう一度スライドにもどり、介助犬のボランティアにはどのような活動があるのか、ご紹介いただきました。あっという間の2時間でしたが、介助犬について色々学ぶことができ、参加者の皆さんもとても満足した様子でした。（事務局）

福島訪問



7月18日、19日と福島県郡山市を訪問し、ハートネットふくしまさんの活動に参加させていただきました。18日は、富田町（富岡町）仮設住宅での定例お茶会に参加しましたが、このお茶会には毎月、西宮の高山堂様の和菓子をお送りしています。ハートネットふくしまの理事長・吉田様から「毎月のお菓子を送ってくださっている団体の方です！」とご紹介いただきましたが、西宮の地より継続的な支援をということで始めた月に1度お送りしているお菓子の存在が、仮設の皆さんの間に浸透していることを感じました。高山堂様には、阪神大震災を経験している西宮だからこそ息の長い支援を...との思いにご賛同いただき、多大なるご協力をいただいてまいりましたが、この福島への支援も2年以上が経過しました。現地に行き、この継続的なご支援をいかに喜んでいただいているかを感じるとともに、これからもできる限り長い支援活動ができればと思っております。（高山堂様、今後ともよろしくお願い致します。）

翌19日は、南1丁目川内村仮設での活動でした。川内村は、帰還困難区域の解除にともない精神的賠償が打ち切れ、生活困窮者が増えている実情について、自治会長さんからお話がありました。この日は、岐阜県から大勢のボランティアさんが来られ、仮設住宅横の広場で食事会と称し、飛騨牛をはじめ、たくさんのお肉が振る舞われました。心配された雨も降らず、屋外での大食事会となりましたが、仮設住宅生活ではなかなかできない焼肉や揚げ物の他、美味しい料理の数々に、皆さん笑顔いっぱいでした！ひとときでも皆さんに楽しんでいただけたのであれば良かったです。（NVNADスタッフ 戸口京子）



佐用町訪問

5月17日（土）～18日（日）の日程で、チャコネット（佐用町学生支援ネットワーク）のメンバーと一緒に、兵庫県佐用町を訪問しました。1日目は、地元の方からお借りして野菜を栽培しているチャコ畑で、学生の皆さんと住民の方々と共同で玉ねぎの収穫作業を行いました。昨年11月頃にみんなで植えた玉ねぎの苗が立派に育っていて感動しました。夕方にはいつも宿泊でお世話になっている笹ヶ丘荘のログハウスに地元の方をお招きして、取れたての新鮮な玉ねぎを使ったささやかなカレーパーティを開催し、交流を深めさせていただきました。夕食後はミーティングを開き、2009年の水害の教訓を風化させないための取り組みの一つとして、今後チャコネットで取り組んでいきたいと考えている『災害ツーリズム』について、深夜遅くまで全員で話し合いを行いました。

翌18日（日）は、朝からコミュニティカフェの準備作業やカフェのバックヤードの整理、カーテンレールの取り付け作業などをお手伝いしました。13時からいつものカフェがスタートし、住民の方々がたくさんお越し下さり、子どもたちの歓声とともに会場内は盛り上がりしていました。

6月29日（日）チャコネットの学生さんたちは前日から佐用町入りし、ジャガイモの収穫作業を行ってくれました。29日のコミュニティカフェでは、前日に収穫したジャガイモを使って地元の皆様とカレーを作り、一緒にいただきました。最高に美味しく出来上がっていました。ジャガイモの収穫後は、サツマイモなどを植えました。また秋の収穫時期が楽しみです。チャコネットに新入生がたくさん加わり、今回の活動から参加してくれました。また一段とにぎやかで、地元の方々と交流活動が継続できるのではないかと、期待しています。

7月は26日（土）～27日（日）今回の活動では、26日は地元の高瀬舟祭りに参加させていただき、チチ釣り大会やヨーヨー釣りのお店などをやらせていただきました。27日は、いつものコミュニティカフェを開催し、そうめんを食べていただいたり、子どもたちとスイカ割りを行いました。この2日間、久崎のみなさんとさらに交流を深めることが出来たように感じました。（事務局）



第16回N V N A D通常総会報告

第16回N V N A D通常総会は、2014年6月21日(土)西宮市において開催、提案された議案は原案通り承認され無事終了しました。

・第15期(2013年度)事業報告(2013.4.1~2014.3.31)

第15期(2013年度)を振り返ってみると、災害救援においては、9月に発生した京都府福知山での水害に対して、まず先遣隊を派遣し、その後、西宮市社会福祉協議会と共同でボランティアバスを運行し救援活動に従事した。東日本大震災支援関連では、岩手県野田村には継続してボランティアバスを運行し、茶話会やハンドアロマ、プレーパークや仮設訪問などの活動を実施した。また、野田村から西宮に子どもたちを招待し、西宮の子どもたちと交流を図ると共に、阪神・淡路大震災の追悼行事などに参加していただいた。

そして、福島県郡山市で主に仮設住宅で支援活動を行っているNPO法人ハートネットふくしまの支援活動のサポートや、地元西宮では、県外避難者を対象にした交流イベントをKSN(関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、N V N A Dが主体)主催で合計4回開催した。東日本大震災以外では、チャコネット(佐用町学生支援ネットワーク)と一緒に兵庫県佐用町の継続支援活動を行った。

平常時の活動においては、活動の3本柱である、「防災まちづくり活動」としては、子ども防災クラブや親子でわがまち探検隊、あるいは、西宮市の受託事業として鳴尾北地区で地域防災マップづくり事業などを行った。「講演・講座活動」としては、湖南市社会福祉協議会や柏原市社会福祉協議会など継続した講座の依頼がある一方で、西宮商工会議所や伊勢市社会福祉協議会などの新規の講座依頼もあった。「ネットワーク活動」としては、第18回チャリティカレンダー市を開催したり、ひょうご市民活動協議会(愛称:ひょうごん)の運営委員に就任し、兵庫県下のNPOとのつながりを広げさせていただいた。

その他、西宮市からの受託事業の一環として、南海トラフ大地震の津波災害を想定した防災ウォークラリーin西宮を武庫川女子大学で実施し、奥田理事を通じて災害食の提供を食品メーカー7社から協力をいただいた。

その他、3月に兵庫県に対して認定NPO法人の申請を行った。

(活動事業実績)

1. 災害に関する講演、講座事業 21回
2. 防災まちづくり事業(ワークショップ事業) 18回
3. ネットワーク事業 8回
4. 災害救援活動事業 47回
5. その他の活動 10回

・第15期(2013年度)決算並びに第16期予算

別紙

・第16期(2014年度)事業計画

災害支援関連では、東日本大震災をはじめ、兵庫県佐用町での活動を継続していきたいと考えている。岩手県野田村については、チーム北リアス(青森県八戸、青森県弘前、など)のネットワーク団体と情報交換しながら、これまでのボランティアバス運行にとらわれず、変化する被災地のニーズに寄り添った形での支援の継続を考えていきたいと思っている。また、福島県郡山市については、引き続きNPO法人ハートネットふくしまの活動を間接的に支援したいと思っている。地元西宮の県外避難者の支援については、KSN(関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、N V N A Dが主体)主催での交流イベントや学習・遊び支援などを行いたい。ただし、新たに大規模な災害が発生した場合は、活動可能な範囲で対応していきたい。

平常時の活動については、防災まちづくり活動、講座・講演活動、ネットワーク活動に加えて、今期は阪神・淡路大震災から20周年を迎えるので、今後の災害に備えて、地元西宮で防災ふれあいウォークや災害ボランティアのつどい、などの自主イベントを企画し実施したいと考えている。また、認定NPO法人が取得できた場合には、寄付を集めるためのキャンペーンを実施し、財源の確保を積極的に働きかけ、安定した組織体制、特に活動や会計などを将来担ってもらえる人材の発掘と養成にも取り組んでいきたいと思っている。

・災害救援の活動

1. 救援活動

(1) 東日本大震災の支援活動

活動内容: 被災地の支援活動(岩手県野田村、福島県郡山市、宮城県南三陸町など)
西宮市内での避難者支援活動(KSNプロジェクト)

(2) 兵庫県佐用町水害の支援活動

・次の災害に備えるための防災(広報・啓発等)の活動

1. 地域防災活動

(1) 子ども防災クラブ

(2) 子ども森林体験ツアーなど

2. 防災意識高揚のための取り組み

(1) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業

(2) 講演等

3. ネットワークの拡充

(1) 全国災害救援ネットワーク(Jネット)総会

(2) 全米災害救援ボランティア機構(NVOAD)

- (3) ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）
- (4) 市民活動コーディネーター事業
- (5) チャリティカレンダー市

4. 新規事業の企画

- (1) ボランティアリーダー養成講座
 - (2) 阪神淡路大震災20周年事業
 - ・防災ふれあいウォーク
 - ・災害ボランティアのつどい
 - (3) 寄付募集キャンペーン など
5. その他（認定NPO法人の申請）
6. 今年度末の災害救援準備金残高 500千円

（内規）

- (1) 国内外で災害が発生し、緊急出動のための費用は、理事の承認を受け引当貯金を取崩し、次回総会で報告の上、承認を受けることとする。
- （報告）2013年9月18日京都府福知山市台風18号災害緊急出動費用 26,878円引当貯金取崩しました。

・役員改選について

- (1) 次の役員が選任され、就任しました。

理事	（再任）渥美 公秀	大阪大学大学院教授
"	（再任）池田 直樹	弁護士（あすなる法律事務所）・関西学院大学教授
"	（再任）太田 博	㈱関西技術コンサルタント代表取締役
"	（再任）奥田 和子	甲南女子大学名誉教授
"	（再任）寺本 弘伸	常勤理事
"	（再任）檜垣 龍樹	尼崎市職員
"	（再任）山口 元	（社福）光朔会オリンピック理事長
"	（再任）矢守 克也	京都大学防災研究所教授
"	（再任）米山 清美	にしのみや遊び場つくろう会代表
監事	（再任）岩瀬 哲正	公認会計士・税理士（岩瀬会計事務所）
"	（再任）鈴木 勇	甲子園大学専任講師

総会終了後、理事会において、次の通りそれぞれ役職に就任しました。

理事長	渥美 公秀
副理事長	檜垣 龍樹
常務理事	寺本 弘伸

（別表）

活動計算書（第15期決算及び第16期予算）

（一般・特別）

（単位：円）

科目	第15期予算	第15期決算	第16期予算
・経常収益			
1. 受取会費収益	1,233,000	954,500	1,145,000
2. 受取寄付金収益	2,700,000	2,882,460	2,000,000
3. 受取助成金収益	1,500,000	0	2,250,000
4. 事業収益	9,415,000	8,071,153	9,091,000
5. その他収益	12,000	10,185	12,000
経常収益計	14,860,000	11,918,298	14,498,000
・経常費用			
1. 事業費	25,242,124	18,841,636	23,287,385
2. 管理費	1,467,876	1,066,795	1,348,542
経常費用計	26,710,000	19,908,431	24,635,927
税引前当期正味財産増減額	-11,850,000	-7,990,133	-10,137,927
法人税、住民税及び事業税	164,000	82,000	82,000
当期正味財産増減額	-12,014,000	-8,072,133	-10,219,927
前期繰越正味財産額	67,087,257	67,087,257	59,015,124
次期繰越正味財産合計	55,073,257	59,015,124	48,795,197

認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワークへの 寄付は、税制上の優遇措置が受けられます

平成26年は、認定NPO法人取得日である6月19日～12月31日、以降は、毎年1月1日～12月31日の期間の寄付が対象となります。

税制優遇について

個人の場合

確定申告により税額控除あるいは所得控除のいずれかの寄付金控除が受けられます。

(税額控除を選択した場合)

所得税控除は、寄付金が2,000円を超える額の40%が所得税から直接控除する方法。

但、寄付金の額の合計額は、総所得金額の40%、税額控除額は所得税額の25%相当額が限度です。

住民税控除は、寄付金が2,000円を超える額の10%(都道府県4%、市区町村6%)が住民税から直接控除されます。

但、住民税控除は、各都道府県、各市区町村によって異なります。住所地の自治体にお問い合わせください。

(計算例) 給与収入300万円で1万円を寄付した場合

所得税 (10,000円-2,000円) × 40% = 3,200円

住民税 (10,000円-2,000円) × 10% = 800円

(所得控除を選択した場合)

所得から寄付金を控除した後に税率を掛ける方法

寄付金の内2,000円を超える額が「所得」から、控除されます。

個人の収入や控除内容によって異なりますので、最寄りの税務署にお問い合わせください

法人の場合

一般寄付金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で、損金として算入することができます。

*詳しくは最寄の税務署にお問い合わせください。

相続や遺言による財産の場合

相続による財産 - 認定NPO法人への寄付 = 課税対象財産

*詳しくは最寄の税務署にお問い合わせください。

領収書について

寄付金控除等、税の優遇措置を受けるためには、日本災害救援ボランティアネットワークが発行する領収書が必要です。

領収書には、寄付者の住所、氏名が必要です。郵便振替によるご寄付以外は別途ご連絡下さい。

(FAX:0798-34-9022)

寄付金などの領収書は、原則1月に1年分をまとめてお送りします。

賛助会員の会費は、寄付金控除を受ける事ができます。(正会員費は寄付控除対象外です)

寄付口座について

郵便振替 01170-1-84310

加入者名 特定非営利活動法人

日本災害救援ボランティアネットワーク

三井住友銀行 西宮支店 普通預金 7833406

口座名義 特定非営利活動法人

日本災害救援ボランティアネットワーク

尚、銀行振込の場合は、寄付者の住所、氏名をお知らせください。(FAX:0798-34-9022)

西宮浜地区防災マップ作成会

(災害図上訓練・まち歩き作戦会議)

平成26年7月12日(土)西宮浜公民館講堂に於いて、西宮浜地区「防災マップ作成会」(災害図上訓練・まち歩き作戦会議)が開催されました。西宮浜マリナパークシティ協議会の松本会長はじめ多数の方が参加されました。



西宮浜地区で最も危惧される「津波災害」を想定災害(テーマ)に、災害図上訓練(D I G)を実施しました。参加者がグループに分かれて、地図台を囲み地域の基礎情報を確認し、津波により浸水が危惧される被害想定をもとに、地図にアイコンシールを貼りながら、避難所はどこになるのか、避難ルートなど話し合いました。各グループで意見を話し合い、「地域防災マップに記載する情報」をまとめ、まち歩きチェックリストにその内容を記入、その後「まち歩き作戦会議」でまち歩きの方法を伝授しました。災害図上訓練やまち歩きを通じて、防災に役に立つことを楽しみながら地域の中で再点検し、防災意識の啓発につなげるために実施しました。(事務局)



子ども防災クラブ

7月20日(日)、西宮市立高木小学校にて、『子ども防災クラブ』の第1回目の活動としてキャンプの事前説明会を開催しました。今回は保護者の方にもご参加いただき、子ども防災クラブの概要説明やキャンプの説明などを行ったあと、班対抗で防災クイズに挑戦してもらいました。今年度のメンバーは3年~6年生17名、卒業生を含め19名で1年間活動していくこととなります。子ども防災クラブは今回で6年目になりますが、また新たな気持ちで色々なプログラムを子どもたちと一緒に行っていききたいと思います。(事務局)



Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

8月

- 17~20日 野田村交流ツアー(野田村の子どもたちが西宮へ)
- 21~24日 野田村交流ツアー(西宮の子どもたちが野田村へ)
- 22~24日 野田村祭りに参加、仮設住宅訪問(野田村)

9月

- 6日 ボランティア受け入れセミナー(西宮市)
- 12日~16日 野田村ボランティアバス
- 27~28日 佐用町訪問(兵庫県)
- 28日 防災講座(宝塚市)
- 29日 防災講座(伊丹市)

10月

- 4日 タウンウォッチング及び災害図上訓練(津市)
- 25日 第3回子ども防災クラブ(西宮市)

11月

- 17日 ニュース 101発行



Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。



5月

- 24日 第1回ボランティアリーダー養成講座 (西宮市)
- 31日 NVNAD会計監査(西宮市)
- 31日 第1回ボランティアリーダー養成講座 (西宮市)

6月

- 7日 第1回ボランティアリーダー養成講座 (西宮市)
- 8日 地域のぼうさいマップづくり事前学習会(神戸市こうべ小学校)
- 14日 第1回ボランティアリーダー養成講座 (西宮市)
- 16日 コーディネート事業、フリートークの日(西宮市)
- 19日 コーディネート事業、フリートークの日(西宮市)
- 19日 認定NPO法人取得(兵庫県)
- 21日 第1回ボランティアリーダー養成講座 (西宮市)
- 21日 NVNAD第16回通常総会(西宮市)
- 22日 KSN学習会(西宮市)
- 29日 佐用町訪問(佐用町)

7月

- 5日 ボランティア体験セミナー「兵庫介助犬協会の活動」(西宮市)
- 11日 ニュース号外発行
- 12日 西宮浜地区防災マップ作成会「災害図上訓練及びまち歩き作戦会議」(西宮市)
- 13日 炊き出し訓練(西宮市)
- 14日 コーディネート事業、フリートークの日(西宮市)
- 17日 コーディネート事業、フリートークの日(西宮市)
- 18~20日 福島訪問(福島県郡山市)
- 20日 第1回子ども防災クラブ(西宮市)
- 23日 被災地交流事業説明会(西宮市)
- 26~27日 佐用町訪問(佐用町)
- 29日 KSN交流イベント(西宮市)

8月

- 2日 「子どもたちを守る」野田村保育所長小野寺様講演会(西宮市)
- 2日 浜甲子園防災マップ作成会「災害図上訓練及びまち歩き作戦会議」(西宮市)
- 6日~7日 第2回子ども防災クラブ「西宮子どもキャンプ交流会」(佐用町)
- 17日 ニュース 100発行

~ 会員・寄付者・募金者のみなさま ~

継続会員のみなさま (2014年5月1日~2014年7月31日)

個人正会員「継続」明石 恵実、明石 貞子、渥美 公秀、渥美 直子、鈴木 勇、米山 清美、米山 晶
福田 恵匡

個人賛助会員「継続」渡辺 英子、玉巻 真由美、渥美 樹里、渥美 杏奈、戸口 始、戸口 裕子
戸口 京子

寄付者のみなさま (2014年5月1日~2014年7月31日)

「一般」渡辺 英子、堂野 喜美子、明石 恵実、明石 貞子、鈴木 勇、戸口 始、戸口 裕子、戸口 京子
浜本 教子

募金者のみなさま (2014年5月1日~2014年7月31日)

「東日本大震災」戸口 京子、岡崎 繁代、大江 良一、平沢 美智子、平谷 真彦、松崎 恵子
アイティゴゴロク ナカカ、グッドスナカヤマ ヨシ、カヤシマフウト、フルツカ
ヤマウチ キミエ

ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂

*前号 (vol . 99) の掲載において、事務局の誤りにより、お名前に間違いがありましたので、下記に再掲させていただきます。ここに訂正の上、心から深くお詫び申し上げます。

継続会員のみなさま (2014年2月1日～2014年4月30日)

個人正会員「継続」花岡 豊、三好 紀昭、魚島 侑子、藤江 せつ子、松野 博、佐々木 真次、小野 明雄、堀川 ふじ子、小坂 則生、植木 和夫、金井 佐稚子、桐山 裕文、小松 敬子、大竹 ふみよ、後藤 法子、八ッ塚 としえ、片岡 幸彦、山岸 裕吉、山岸 のぶ子、荻原 迪子、寺本 弘伸、檜垣 龍樹、松本 清子、山口 元、林 幹高、中村 有美、早川 一代、鶴田 芳樹、梶 昌代、萩野 茂樹、平木 祐治、齊藤 秀子、谷原 和憲、奥田 和子、鈴木 茂広、矢守 克也、矢守 恭代、大井 英臣、平川 りつ子、西川 達夫、三浪 富士子、森 永壽、岩瀬 哲正、飯尾 さち子、南 義彦、市山 泰史、二宮 英夫、北村 英夫

個人賛助会員「継続」掛水 すみえ、赤対 泰、赤対 美千代、中川 純子、廣瀬 輝男、矢口 直司、渡辺 清武、中垣 伸、忽那 須美男、渡邊 保、渡邊 鶴予、阿部 千鶴江、志賀 理恵、小林 弘子、塚野 理恵、今井 曜子、渡辺 由子、原田 陽子、渥美 秀三、渥美 久栄、前内 安一、島 和子、葉 千鶴子、鈴木 憲一、山田 明子、荒銀 昌治、荒銀 和子、石川 智子、小栗 優子、前田 容子、山田 和子、菅野 秀徳、菅野 好恵、新堂 睦子、吉田 時雄、板谷 綾子、森川 博雄、竹下 養子、石井 保江、石川 たか子、谷口 展子、高橋 聡子、臼井 潤子、平崎 百合子、橋爪 三知、三浪 治子、池田 秀樹、柴藤 成利、宮城 久代、小林 静子、武田 育子、藤ヶ谷 幸子、吉岡 啓次、田中 恵子、大里 恵子、小畠 あつみ、平井 芳明、御船 鋼、秋山 洋子

法人正会員「継続」(株)京佐興産、日本労働組合総連合会大阪府連合会、(株)関西技術コンサルタント

団体正会員「継続」阪神NPO連絡協議会、社会福祉法人光朔会オリンピック

寄付者のみなさま (2014年2月1日～2014年4月30日)

「一般」：馬場 十三男、近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様、掛水 すみえ、魚島 侑子、田淵 由香梨、山田 浩二、岡部 佳代、小野 明雄、小坂 則生、渡邊 保、渡邊 鶴予、村松 真理子、阿部 千鶴江、大竹 ふみよ、山岸 裕吉、山岸 のぶ子、浜本 教子、深山 操江、小林 弘子、塚野 理恵、山田 明子、前田 容子、山田 和子、新堂 睦子、森川 博雄、小柴 裕子、臼井 潤子、平崎 百合子、ニシダユキヒロ、池田 秀樹、御内 眞理、二宮 英夫、田中

募金者のみなさま (2014年2月1日～2014年4月30日)

「東日本大震災」松崎 恵子、小山内 陽子、アイテイゴゴロク ナカカ、グッドスナカヤマ ヨシフルツカ、オオサカフダイコウセンガ、高木公園春祭りご来場のみなさま、岡崎 繁代、田中 照康、大江 良一、舞鶴工業高等専門学校、景山 久雄、林 誠一、今井 千郎、山岸 春治、深山 操江、浜本 教子

「フィリピン台風災害」弘前大学

ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂

(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込みで、いただいた方につきましては、振込名で、ご紹介させていただきましたので、ご了承下さい。

編集後記

6月に認定NPO法人となりました。このことをきっかけとして新たな事業を模索していければと思っています。例えば、地域の防災・子育て・健康のリーダー養成であったり、町なかでの農作業体験活動であったり。寄附の集まる仕組みを構築しながら、災害に強いまちづくりという観点から、地域で必要なことをこれから検討していければと思っています。皆さま、また色々とお知恵をお貸し下さい。(H・T)

認定特定非営利活動法人 **日本災害救援ボランティアネットワーク** [NVNAD]

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀 編集人：伴美代子